

## 鼻柱－鼻翼位置関係を改善させる新たな選択肢 ～鼻翼挙上術の適応と注意点～

室 孝明／福田 慶三／中西 雄二／李 政秀／大橋 菜都子／田中 宏典

Takaaki Muro,M.D.,Keizo Fukuta,M.D.,Yuji Nakanishi,M.D.,Masahide Ri,M.D.,  
Natsuko Ohashi,M.D.,Kosuke Tanaka,M.D.

ヴェリテクリニック  
Verite Clinic

### ■抄録

鼻中隔延長術によって鼻尖位置のコントロールや鼻柱－鼻翼の位置関係の改善など、様々な恩恵が受けられるようになった。

しかしもともとの外鼻が大きい場合や鼻自体を目立たないようにしたい場合には、鼻中隔延長術が適さず違和感を感じることもある。近年われわれは、鼻柱－鼻翼の位置関係を改善させる方法として鼻翼挙上術を多用している。短鼻・低鼻が多い東洋人の特徴から鼻中隔延長術との併用が多いが、鼻翼挙上術単独あるいは鼻翼縮小術や鼻孔縁切除術との併用は、前述の違和感を解消する優れた方法であると思われる。

今回は鼻翼挙上術症例を供覧し、その適応や注意点について私見を述べたいと思う。

memo